

科目名	市民参加とガバナンス	
担当者	新川達郎	
配当学期	冬季集中	
単位	2単位	
授業概要	この授業では、市民参加とガバナンス論についての基礎的な考え方について概観する。特にガバナンス論は、近年、大きく注目されるようになっているため、その検討を踏まえ、市民参加との関係を明らかにする。その際、両者を結ぶ概念としてパートナーシップ（協働）に注目して、理論的、実践的に整理し、講究することとする。	
授業の到達目標	ガバナンスが変化する時代にあって、市民参加とガバナンスの基礎的知識を習得するとともに、両者の関係についての理解を深めることを目的とする。	
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> (1) 講義の概要と進め方 (2) 市民参加、パートナーシップ、ガバナンスの関係 (3) 政府観の変化とガバナンス論の登場 (4) ガバメントからガバナンスへ (5) ガバナンスの理論と展開 (6) ガバナンス、ネットワーク、パートナーシップ (7) 市民参加の理論 (8) 市民参加の歴史と思想 (9) 参加民主主義論の展開 (10) 市民運動、市民参加、市民協働 (11) パートナーシップの意義 (12) パートナーシップ型ガバナンス論 (13) 新しいガバナンスの中の市民参加 (14) 総合討論：市民参加、パートナーシップ、ガバナンス (15) 講義のまとめ 	
教科書	特に指定しない	
参考文献	白石克孝・新川達郎共編著『参加と協働の地域公共政策形成システム』日本評論社、2008年	
成績評価方法		評価基準
	試験	
	レポート 70%	
	平常点評価 30%	平常点（出席と授業参加）

	その他	
関連 URL		
備考		